

# 水稲関係除草剤技術確認圃における供試薬剤の推移（関東地域）

植調協会関東支部

関東地域における水稲関係除草剤技術確認圃の供試薬剤の推移（平成20年～30年）は次の通り。

- (1) 技術確認圃の供試薬剤数は24剤～52剤（図-1）、実証点数は52箇所～124箇所（図-2）で実施しており、近年は減少傾向にある。
- (2) 内訳としては移植栽培の一発処理剤が6～7割と多く、次いで体系処理剤（中・後期）の実証が行われている。直播栽培はH24～26に多かったが、近年は少ない（図-1、2）。
- (3) 供試薬剤の有効成分数をみると、H22～25は2成分剤の実証が多かったが、H26からは3成分剤が多くなり、本年は2成分剤が少なかった（図-3）。1成分剤は体系処理剤、水田畦畔剤。
- (4) 評価はほとんどがA評価である。最近3年間はB評価が少ない（図-4）。

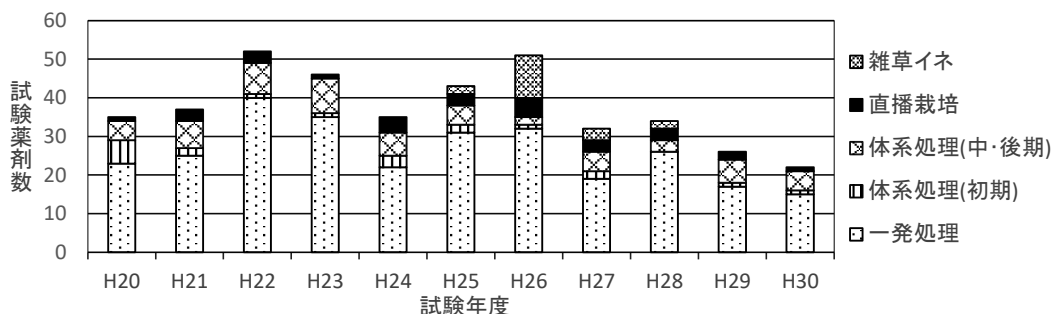


図-1 水稲関係除草剤技術確認圃における供試薬剤数の推移

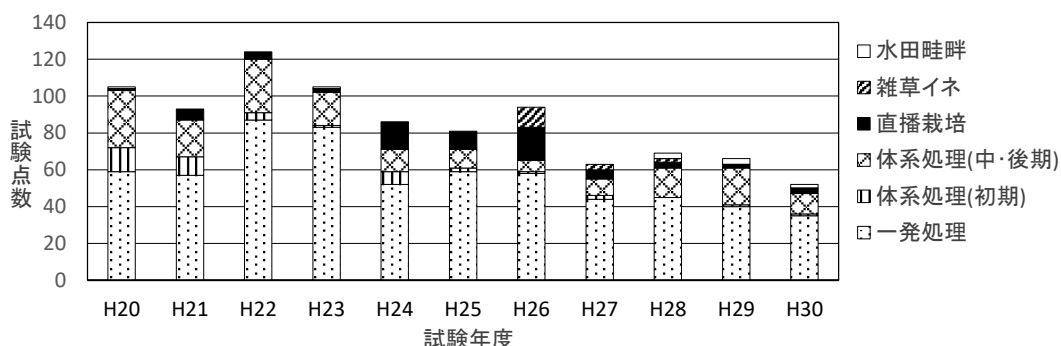


図-2 水稲関係除草剤技術実証圃における実施点数の推移

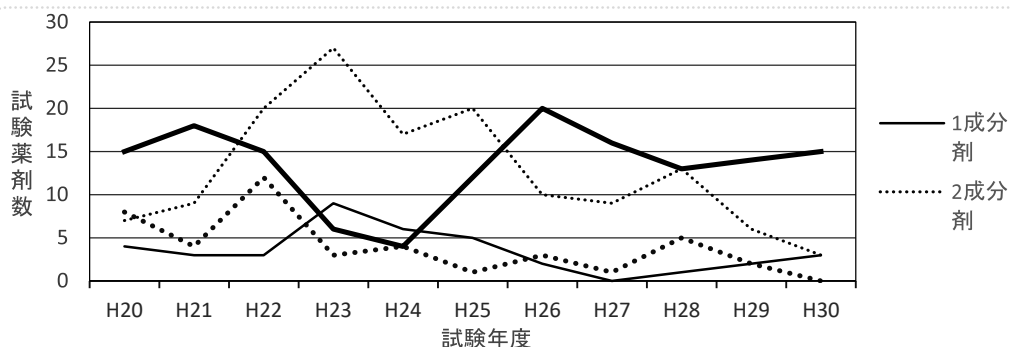


図-3 移植栽培試験（雑草イネは除く）における有効成分数別の供試薬剤数の推移

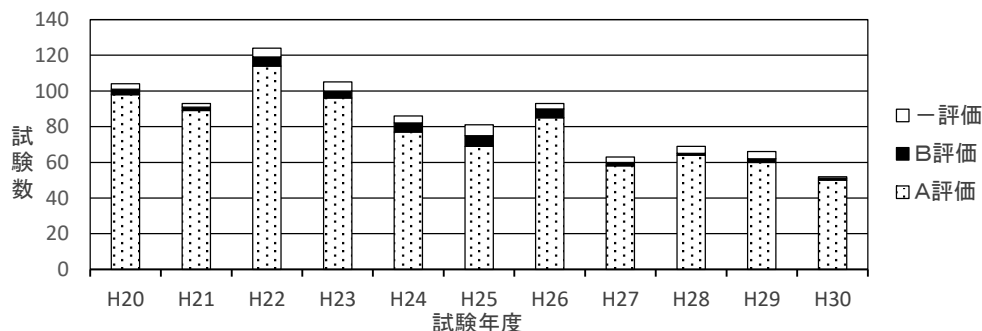


図-4 水稲除草剤技術実証圃評価点数の推移（全体）